

社員の皆様へのメッセージ

株式会社 イナテック

代表取締役社長 稲垣 良次

2013. 7
No.239

「報告・連絡・相談」の意義

毎月イナテックの経営指導いただいている矢野先生より『報・連・相』について、厳しいご指導をいただきました。

特に『報告』の考え方があります。イナテックの空気を見てみると“部下の上司に対する報告が少なすぎて、イナテックのコミュニケーションがとれず、ベクトルが合わず適切な意思決定が行われないためにムダが多く、大変な労力を使い社員の皆が疲れている”と矢野先生は分析されています。

・ “報告”というものは基本的には部下が上司にするもので、上司は部下に報告しなくとも良いもの

・ 部下の上司への“報告”にどこまで・どのくらいetcの「取捨選択権」はない

・ こと細かくすべてを上司に“報告”する義務がある。(たとえばお客様とゴルフに行った。どんなストーリーでどんな話が出たかetc)

“報告”した時上司がどう判断するのか、どんな感想を言うのか、それが『部下の学び』なんです。

部下の報告 ↓ 上司のアドバイス

部下の報告 ↓ 上司の決断の仕方

部下の報告 ↓ 上司の行動パターン

部下の報告 ↓ 上司の判断力(判断の仕方)

その上司の言葉(判断)を学ぶことです。

部下は上司への報告に対して“取捨選択”はない。逐一報告するからコミュニケーションが生まれ上司との『信頼関係』が出来、そこで始めて『権限移譲』が起るわけです。

ここで勘違いしてはいけないのは、“権限移譲”されたからと言って「報告」しなくていいということとは絶対にありません。権限移譲されたからこそ上司に報告し、“経営者の判断を学ぶ”ということなのです。

このような報告が出来る、だから一般社員の人たちから経営者(社長)までのベクトルが合い、

正しい決断・行動が出来、気持ちの良いイナテックが創られるということなのです。

信頼関係(上司と部下)を堅固なものにするために事細かくすべてを毎日報告するよくくせを実行してください。(矢野先生、ありがとうございます)

TPMシリーズI

“水平直角”から見えるもの・

こだわり

TPMを指導いただいている山田先生から一次審査が終わった後、「あなたたちはまだ分かっていないのか、こんなにいい加減な整理・整頓で二次審査が合格するとも思っているのか」と温かいご指導を頂きました。

それは徹底した「水平・直角」のことでした。我々も「こんなもんでいいだろう」「ここまでやったんだから」と慢心していました。山田先生のこだわり(頭の中)はそんなものではありませんでした。我々は心を入替え、もう一度挑戦いたしております。

建築家・池田武郎氏、工業デザイナー・水戸岡鋭治氏のお話です。

「デザインというものは『整理整頓』が基本なんだ。どうしてここはこんなにすっきりしたんだろうと感じる時、そこには必ず整理整頓した人がいる。デザイン（整理整頓）によって空間が変化し、さらにそこにいる人たちの意識まで変わっていく……そうやって皆で一目でわかるようにし、色のバランスや形の統一、使い勝手などを調整していく……」

山田先生の厳しく温かいご指導の奥には、池田氏・水戸岡氏の言う『そこにいる人たちの意識まで変わってくる……』があり、イナテックの社員の人たちの意識を変え、一流のTPMマンになって欲しいという親心とっております。皆さん、山田先生に感謝し、社員皆が変身して山田先生へのお礼に変えましょう。

『飯後百歩走、活到九十九』

これは中国のことわざです。7月は全国安全週間です。“安全”のもとやはり身体は健康です。

この中国のことわざは

「食後に百歩あるけば九十九歳まで長生きできる」ということです。日本人の生活習慣である肥満の主因は飲食してすぐ寝て

しまうことのようにです。

これを改めるために積極的改善策である「飯後百歩走」を実践しましょう。中国4000年の歴史に学びましょう。

私も会社での昼食後、筋トレやウォーキングをおこなっております。午後からの仕事はさわやかになります。皆さんも是非実行し、健康になつて下さい。